

2021年度 駒ヶ根協力隊を育てる会 事業報告

1 「国際交流のまちづくり」事業の推進

(1) 「第28回みなこいワールドフェスタ」(協力隊週間) 11月14日～21日の開催

テーマ：「海がなくても、空港がなくても、ここで見られる世界がある」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各企画を分散させ、事前予約や入場制限を行いながら開催しました。期間前からのSNSでの配信にも力を入れ、最終的にイベント予約を行う今年のホームページに約1,400のアクセスがありました。また、活動内容の検討の際にワークショップなどを行ったことで、実行委員全体で本イベントを見つめ直す機会を作るとともに、高校生や大学生など新たな運営参加がありました。

○ワクワク！あそび部会

子どもたちに向けた遊びを通じて世界に触れられるイベントを企画

- ・実際に対面する形式で開催でき、参加者の楽しむ姿をスタッフが実感できた。
- ・新たに学生（高校生や看護大生）の参加もあり、スタッフ同士の世代を超えた交流が生まれた点も良かった
- ・今後は小学校高学年以上の世代に向けたイベント内容なども考えていきたい。

①ダンスを通じて世界を知ろう！

11月14日(日)、18日(木)、21日(日) ゴッチャ！ウェルネス駒ヶ根

世界のダンスを踊れるプログラムを実施しました。3日間で計6つプログラムがあり、タイ、アフリカ、ペルー、フィリピン、ベトナム、ネパールの全国各地出身者や派遣されたJICA海外協力隊OBの方々が講師として参加者にダンスを指導しました。外国の方との交流ができる企画となり、当日はとても賑やかで充実した取り組みとなりました。

②世界を遊ぼう！スタンプラリー

11月21日(日) 駒ヶ根市立赤穂小学校体育館

世界の遊びやクイズなど、計5つのコーナーを回るスタンプラリーを実施しました。これまでのスタンプラリーで実施してきた世界のクイズ、世界の遊び、みんなde国旗、お買い物ごっこ、JICAブースを設置し、来場した子どもたちが楽しみながら世界のことを体験し学ぶ機会を提供することが出来ました。JICA駒ヶ根にて活動していた待機隊員の参加など、協力隊活動に親しんでもらえる機会にもなりました。

③絵でつながろう！僕と私と世界の子どもたちと

11月21日(日) ばとな(駒ヶ根市銀座通り)

「家族」をテーマにした絵をみなこい地域の子どもと世界の子どもがそれぞれ描き、それを1枚に合体して共有する子ども向けの世界とつながれる企画を実施しました。協力隊訓練所や派遣中の隊員に協力を頂き各国の子供たちの様子や絵を集め、活動に生かすことができました。コロナ禍でも世界と地域の子どもたちとをつなぐ取り組みができました。

○国際協力を伝える部会

①みなこいドライブ in シアター

11月14日(日) 飯島町与田切公園野外ステージ

コロナ禍でも開催できる新しい試みとして、ドライブ in シアターを実施しました。上映映画は「風をつかまえた少年」というアフリカのマラウイを舞台とした作品で、内容やスタッフの対応、会場の雰囲気や入場料の安さ、JOCA や料理部会と協力したコーヒー&ポップコーンの提供など、多岐にわたり好評をいただきました。また、飯島町を絡めた内容や取り組みを入れていければ MWF の活動としてよりよいものになっていくと感じています。

②みなこい発 国際塾

11月17日(水) 駒ヶ根市立赤穂小学校5年2組

海外での隊員活動経験を子どもたちへ伝え世界に関心を持ってもらう国際塾を実施しました。講師に元ウガンダ隊員の須藤さん(元立科町地域おこし協力隊)をお招きし、当時の話や現地の小学校の様子、さらにはご自身の経験や人生で大事にしていることなど、子供たちにとっては貴重な内容となりました。今回はできませんでしたが、中高生に向けても講座を開いていきたいです。

③未来を考えよう～2030 SDGs～

11月20日(土) 駒ヶ根市立赤穂中学校体育館

世界的なテーマになっている SDGs についてゲームを通じて楽しく学び、自分の身近なところからできる SDGs を考えるきっかけを作る企画を実施しました。当日は想定していた中高生だけでなく、小学生や社会人など広い世代が参加、ゲームの中で徐々にコミュニケーションが広がり、最後には今後の生き方や SDGs への貢献をそれぞれが考える機会となりました。本企画は看護大学のまちづくりサークルの学生が中心となって行い、新しい視点で行う企画となりました。初の試みのため、企画の計画や立ち上げの難しさ、想定外の年齢層の参加者への対応など、課題もありましたが、企画・参加者側共に充実した企画となりました。

○異文化を知る部会

① MWF コレクション ～住んでみた人に聞く あの国のおしゃれ～

11月19日(金)、20日(土)他 ぱとな(駒ヶ根市銀座通り)、インスタグラム配信
協力隊派遣国の衣装を通じ、異文化に触れる機会を提供することをテーマに衣装
を切り口にしたショーやトークイベント、インスタグラムでの写真の投稿を実施し
ました。各国のお洒落や装い文化について任国の隊員や協力隊経験者に取材したこ
とで、協力隊や任国の理解へつながる活動になりました。また、地域の名所や人材、
行政や企業ともコラボすることができ、特に地域の美容・服飾関係の方々の協力が
とても活きた取り組みとなりました。

○料理部会

ドライブ in シアターでのコーヒーとポップコーン提供など、本年は実際にイベン
トの中で料理を提供することができ、部員にとってもオンラインでは味わえない充
実感がありました。他の部会との協力や JOCA の協力隊珈琲との新しいつながりも
感じることができました。

○サポート部会

部内を3つの班に分け、SNS での広報、チラシの制作、各企画への物品提供や人
材の募集配置といったサポートを行いました。

① SNS 広報班

インスタグラムや Facebook を使った SNS での広報を一元管理、計画を立てて
イベント開催前から定期的に広報を行いました。例年より充実した情報発信を行
うことができ、投稿へのフォローやいいねも増加しました。課題としては MWF
を既に知っている方からのアクセスが多いため、より広い市民の方にも届くよう
な広報が必要だと感じました。

② チラシ制作班

メンバーの手書きのイラストをもとにチラシのデザインや、情報配置を検討しま
した。温かみのある手書きのデザインが良く、好評を頂くチラシとなりました。

③ 協力隊週間中の各種イベントの手伝い

各部会や企画と連携して必要な人員や物品の把握を行うと共に、チラシや Z o
o m 説明会を開き、運営を手伝ってくれる学生(高校生、大学生)を募集しました。
イベント当日は集まった部員が各イベントのスタッフとしてサポートを行いました。
新しい活動のため当初は各企画内容の把握や、サポートする内容の設定など、
難しい部分もありましたが、うまく他の企画と連携していく事ができました。ま
た、各企画部会に参加をしていなくても、運営スタッフとして MWF に係ることが
できる新しい立ち位置や、やりがいを感じる活動となりました。

(2) こどもまつり

新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止

(3) 中学生体験入隊(11月)の開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催できず

2 地域住民による国際協力活動への参加を推進する事業

(1) 「ちいさな国際貢献運動」支援活動

- ① 書き損じはがき等の募集…2月8日隣組回覧で呼びかけ
- ② 書き損じはがき等 7,750 枚を受け取り。

(2) 「世界の笑顔のためにプログラム」支援活動

- ① 「世界の笑顔のためにプログラム」2021年度 JICA 事務局を通じて、なわとび(大)1本、そろばん6丁、鍵盤ハーモニカ 24 台を譲渡。

3 JICA 海外協力隊の激励・支援事業

(1) 入所式での訓練生へ向けた激励旗の設置 (2021年1~4次隊 計4回)

(2) 訓練修了時における記念品(オリジナル手ぬぐい)の贈呈

1次隊：42名 2次隊：41名 3次隊：30名 4次隊：23名 計136名

(3) 地元出身隊員への激励品の贈呈

2019年3次隊 中島 雅樹さん(派遣国：ヨルダン)

4 広報啓発活動

(1) 駒ヶ根協力隊を育てる会 NEWS の発行(2022年4月) 会員へ発送

(2) Facebook を活用した活動の紹介 随時

(3) 「クロスロード」の購読、配布(23か所) 毎月1回

(4) JICA 駒ヶ根広報誌「信州発 国際協力」の会員への配布
JICA 駒ヶ根と協力し、全会員に向け計4回配布

2021年度 開催行事・会議等一覧

1. 諸行事・会議(「みなこいワールドフェスタ」を除く)

2021年4月13日	第1回幹事会
4月28日	2021年度1次隊 入所式 激励旗の設置
5月11日	「世界の笑顔のために」プログラム 物品寄付
27日	会員に対し総会中止及び理事会での議決代行について通知 総会議案を書面決議にて承認を依頼
6月3日	会計監査実施 総会議案を書面決議にて理事会で承認 2019年度3次隊 中島 雅樹さん 激励品贈呈
10日	2021年度1次隊 修了式
29日	2021年度2次隊 入所式 激励旗の設置
8月12日	2021年度2次隊 修了式
9月8日	2021年度3次隊 入所式 激励旗の設置
10月21日	2021年度3次隊 修了式
11月10日	2021年度4次隊 入所式 激励旗の設置
12月23日	2021年度4次隊 修了式
2022年2月8日	定例文書配布で書き損じはがき等募集依頼
3月22日	第2回幹事会

2. 「第28回みなこいワールドフェスタ」関連行事・会議

2021年3月28日	第1回実行委員会
4月26日	第2回実行委員会
6月5日	第3回実行委員会
23日	第4回実行委員会
7月13日	第1回正副部会長会
25日	第5回実行委員会
8月28日	第6回実行委員会
9月21日	第7回実行委員会
10月15日	第8回実行委員会
11月8日	第2回正副部会長会
11月14~21日	第28回みなこいワールドフェスタ開催
2022年1月28日	第9回実行委員会(振り返り)

2021年度 「世界の笑顔のために」プログラム

第1回目譲渡物品

物品	数量	単位	送付先
なわとび(大)	1	本	マレーシア
そろばん	6	丁	トンガ
鍵盤ハーモニカ	24	個	マレーシア・ボツワナ

今回の寄付に対しトンガ王国よりお礼の品を頂きました。トンガでは全国大会が開かれるほどそろばん教育が盛んで、2021年11月にも全国大会が行われ、そろばんを寄贈した方々へお礼状や、伝統工芸品が贈呈されました。本プログラムではお礼状以外の品物が贈られることは珍しく、トンガからの深い感謝の印とのことです。



2021年度 駒ヶ根協力隊を育てる会 決算書

<収入の部>

(単位 円)

費目	予算額 (A)	収入済額 (B)	比較 (B-A)	摘要
繰越金	627,482	627,482	0	
会費	630,000	580,000	△ 50,000	会費(会員数：個人314 団体26 法人91) 個人会員 (212口) 212,000円 団体会員 (40口) 80,000円 法人会員 (96口) 288,000円
助成金	80,000	80,000	0	(一社)協力隊を育てる会
負担金	40,000	0	△ 40,000	
雑収入	518	57,584	57,066	預金利息 6円 JICA広報誌郵送負担金 57,578円
計	1,378,000	1,345,066	△ 32,934	

<支出の部>

(単位 円)

費目	予算額 (A)	支出済額 (B)	比較 (B-A)	摘要
事業費	990,000	471,669	△ 518,331	
みなこいワールドフェスタ	400,000	400,000	0	負担金
中学生体験入隊	150,000	0	△ 150,000	
海外協力隊等記念品	150,000	0	△ 150,000	
啓発事業	200,000	66,130	△ 133,870	クロスロード購読、育てる会NEWS作成
帰国・待機隊員支援	0	0	0	
ボランティア激励・報告	50,000	5,539	△ 44,461	地元出身隊員激励品
国際交流事業	40,000	0	△ 40,000	
事務費	250,000	252,486	2,486	
印刷・通信費	140,000	187,926	47,926	各種通知発送料
会議・旅費	50,000	0	△ 50,000	
他団体会費	15,000	10,660	△ 4,340	(一社)協力隊を育てる会
備品・消耗品	45,000	53,900	8,900	各種事業消耗品、事務用品
予備費	138,000	0	△ 138,000	
計	1,378,000	724,155	△ 653,845	

収入 1,345,066 円

支出 724,155 円

収入支出差引 620,911 円 次年度繰越

2022年5月25日

駒ヶ根協力隊を育てる会 会長 有賀 秀樹

2021年度「ちいさな国際貢献運動」特別会計決算書

<収入の部>

(単位 円)

費目	予算額 (A)	収入済額 (B)	比較 (B-A)	摘要
繰越金	4,403,239	4,403,239	0	
収入	400,000	352,245	△ 47,755	書き損じはがき、未使用切手換金
雑収入	761	18	△ 743	利息
計	4,804,000	4,755,502	△ 48,498	

<支出の部>

(単位 円)

費目	予算額 (A)	支出済額 (B)	比較 (B-A)	摘要
通信運搬費	10,000	5,290	△ 4,710	「世界の笑顔のために」プログラム運搬費
ちいさな国際貢献運動	500,000	0	△ 500,000	
消耗品	15,000	10,173	△ 4,827	書き損じはがき・切手回収封筒
予備費	4,279,000	0	△ 4,279,000	
計	4,804,000	15,463	△ 4,788,537	

収入 4,755,502 円

支出 15,463 円

収入支出差引 4,740,039 円 次年度繰越

2021年度末 財産調書

1 記念品在庫

品名	2020年度末	2021年度末	備考
オリジナル日本手ぬぐい	909枚	773枚	増)なし 減)JICAボランティアへ寄贈 136枚 その他寄贈 0枚、販売 0枚
オリジナルオルゴール	62個	62個	

2 回収はがき・切手在庫

	2020年度末	2021年度末	備考
書き損じ・未使用はがき	4,966枚 266,267円分	6,791枚 379,191円分	増)回収6,468枚(374,537円分) 減)交換4,608枚(259,454円分) 交換不可35枚(2,159円分)
未使用切手	5,818枚 296,152円分	4,611枚 176,159円分	増)回収1,282枚(58,173円分) 減)交換2,460枚(175,870円分) 交換不可29枚(2,296円分)

2022年5月25日

駒ヶ根協力隊を育てる会 会長 有賀 秀樹

会計監査報告

2021年度駒ヶ根協力隊を育てる会の収支決算の監査を2022年5月19日に実施した結果、収支適正であり、計算に誤りがなく、諸帳票類の整備保存は良好であったことを認めます。

2022年5月25日

監事

横田克彦



監事

小松恭二



2022年度 駒ヶ根協力隊を育てる会 役員

役職名	氏名(敬称略)	所 属	備 考
顧問	佐々木 祥二	長野県議会議員	
	清水 正康	長野県議会議員	
	伊藤 祐三	駒ヶ根市長	
	下平 洋一	飯島町長	
	宮下 健彦	中川村長	
	小田切 康彦	宮田村長	
	小林 敏夫	駒ヶ根市議会議長	
	折山 誠	飯島町議会議長	
	山崎 啓造	中川村議会議長	
	天野 早人	宮田村議会議長	
	山本 保博	(一社) 協力隊を育てる会会長	
	小林 丈通	駒ヶ根青年海外協力隊訓練所所長	
	小林 恭介	青年海外協力隊長野県OB会会長	
会長	池崎 保		
副会長		駒ヶ根市社会福祉協議会会長 ※2019.7～有賀前会長	
	馬場 功(松井 秀之)	駒ヶ根ロータリークラブ会長(7月1日から)	
	橋田 利雄(松岡 宅吉)	駒ヶ根ライオンズクラブ会長(7月1日から)	
	福澤 秀宏	駒ヶ根商工会議所会頭	
	御子柴 茂樹	上伊那農業協同組合代表理事組合長	
理事	小松原 繁樹	ネパール交流市民の会会長	
	村岡 紳介	昭和伊南総合病院院長	
	窪田 雅則	トカルパのひかり会長	
	ホセ・デ・ヘスス・アビティア	飯島町国際協力会会長	
	春日 俊也	会員	
	舩井 優子	青年海外協力隊長野県OB会役員	
	古田 千洋	(一社) 駒ヶ根青年会議所理事長	
	加藤 道生	会員	
	堀内 好夫	会員	
	堀田 直揮	(公社) 青年海外協力協会事務局長	
幹事長	佐藤 和樹	会員	
副幹事長	坂元 洋	会員	みなこいワールドフェスタ部会
	宮澤 正輝	会員(飯島町国際協力会)	体験入隊部会
	細田 隼平	会員	訓練所活用・広報部会
			帰国隊員交流部会
幹事	飯塚 健一郎	駒ヶ根青年海外協力隊訓練所	
	岩田 卓也	飯島町地域創造課地域係長	
	鈴木 崇哉	中川村地域政策課むらづくり係長	
	平澤 敦士	宮田村総務課長	
	加藤 秀一	(公社) 青年海外協力協会	
	井坪 義文	会員	
	小田切 康男	会員	
	塩沢 寿一	会員	
	宮下 進吾	会員	
	宮脇 哲也	会員	
	湯澤 英喜	会員	
	北原 和明	会員	
	小川 まどか	会員(元JICA海外協力隊)	
	上野 好弘	会員	
	大山 崇人	会員	
	古川 晶	会員(一社) 駒ヶ根青年会議所	
	野村 裕範	会員(元JICA海外協力隊)	
	北原 照美	会員(元JICA海外協力隊)	
	椎名 千佳子	会員(元JICA海外協力隊)	
	唐澤 国洋	会員(元JICA海外協力隊)	
塩澤 真洋	会員(元JICA海外協力隊)		
監事	横田 克彦	会員	
	小松 恭二	会員	
事務局長	市村 義美	駒ヶ根市総務部企画振興課長	
事務局	小池 貴彦	駒ヶ根市総務部企画振興課地域政策係長	
	伊藤 優子	駒ヶ根市総務部企画振興課地域政策係	
	大森 峻	駒ヶ根市総務部企画振興課地域政策係	

2022年度 駒ヶ根協力隊を育てる会 事業計画

活動方針

伊南地域が一体となって本会の目的を達成するために、「組織の強化」と「活動の充実」を重点活動として取り組む。

- 1 伊南地域での会員加入促進
- 2 幹事を中心に部会による事業の実施
 - (1) みなこいワールドフェスタ部会
 - (2) 中学生体験入隊部会
 - (3) 訓練所活用・広報部会
 - (4) 帰国隊員交流部会

主要な活動(【】内は担当部会)

- 1 「国際交流のまちづくり」事業の推進
 - (1) 「第29回みなこいワールドフェスタ」の主催 【(1)】
 - (2) 中学生体験入隊の主催 【(2)】
 - (3) 駒ヶ根大使村プロジェクトとの連携
- 2 地域住民による国際協力活動への参加を推進する事業
 - (1) 「ちいさな国際貢献運動」財源確保のための書き損じはがき等募集
 - (2) 「世界の笑顔のためにプログラム」支援のための物品募集
- 3 JICA 海外協力隊の激励・支援事業
 - (1) 訓練修了時における記念品(オリジナル手ぬぐい)の贈呈
 - (2) 地元出身 JICA 海外協力隊激励会の開催
 - (3) 入所時に「協力隊通り」に激励旗の設置(毎隊次)
 - (4) 「ちいさな国際貢献運動」、帰国隊員支援事業 【(4)】
- 4 広報啓発活動
 - (1) 駒ヶ根協力隊を育てる会 NEWS の発行(3月) 【(3)】
 - (2) Facebook を活用した活動の紹介 随時 【(3)】
 - (3) 「クロスロード」の購読、配布 毎月1回 【(3)】
 - (4) JICA 駒ヶ根広報紙「信州発 国際協力」の配布 【(3)】
- 5 その他

JICA、JOCA、(一社)協力隊を育てる会、長野県協力隊を育てる会
青年海外協力隊長野県 OB 会、地元国際交流団体等、関係団体との連携活動

2022年度 駒ヶ根協力隊を育てる会 収支予算書

収入	1,371,000 円
支出	1,371,000 円
収入支出差引	0 円

<収入の部>

(単位 円)

費目	2022年度 (A)	2021年度 (B)	比較 (A-B)	摘要
繰越金	620,911	627,482	△ 6,571	
会費	630,000	630,000	0	2022年度会費 会員数 430 (個人 314 団体 26 法人 90)
助成金	80,000	80,000	0	(一社)協力隊を育てる会
負担金	40,000	40,000	0	体験入隊負担金
雑収入	89	518	△ 429	預金利息
計	1,371,000	1,378,000	△ 7,000	

<支出の部>

(単位 円)

費目	2022年度 (A)	2021年度 (B)	比較 (A-B)	摘要
事業費	1,090,000	990,000	100,000	
みなこいワールドフェスタ	400,000	400,000	0	負担金
中学生体験入隊	150,000	150,000	0	食事代、保険料他
海外協力隊等記念品	150,000	150,000	0	日本手ぬぐい
啓発事業	200,000	200,000	0	クロスロード購読、育てる会NEWS、激励旗修繕他
激励会・報告会等	150,000	50,000	100,000	地元出身隊員激励会
国際交流事業	40,000	40,000	0	
事務費	250,000	250,000	0	
印刷・通信費	140,000	140,000	0	各種通知発送料
会議・旅費	50,000	50,000	0	(一社)協力隊を育てる会総会出席
他団体会費	15,000	15,000	0	(一社)協力隊を育てる会
備品・消耗品	45,000	45,000	0	各種書類発送用封筒他
寄付金	0	0	0	
予備費	31,000	138,000	△ 107,000	
計	1,371,000	1,378,000	△ 7,000	

2022年5月25日

駒ヶ根協力隊を育てる会 会長 有賀 秀樹

2022年度「ちいさな国際貢献運動」特別会計収支予算書

収入	5,140,800 円
支出	5,140,800 円
収入支出差引	0 円

<収入の部>

(単位 円)

費目	2022年度 (A)	2021年度 (B)	比較 (A-B)	摘要
繰越金	4,740,039	4,403,239	336,800	
収入	400,000	400,000	0	書き損じはがき・切手の換金
雑収入	761	761	0	預金利息
計	5,140,800	4,804,000	336,800	

<支出の部>

(単位 円)

費目	2022年度 (A)	2021年度 (B)	比較 (A-B)	摘要
通信運搬費	10,000	10,000	0	学用品の運搬費
ちいさな国際貢献運動	500,000	500,000	0	200,000円～300,000円/件 2件分
消耗品	15,000	15,000	0	書き損じはがき・切手回収封筒
予備費	4,615,800	4,279,000	336,800	
計	5,140,800	4,804,000	336,800	

2022年5月25日

駒ヶ根協力隊を育てる会 会長 有賀 秀樹